



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日
上場取引所 名

上場会社名 中部日本放送株式会社
コード番号 9402
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
四半期報告書提出予定日 2019年8月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

URL <http://hicbc.com>
(氏名) 杉浦 正樹
(氏名) 南 直人 (TEL) 052-259-1322
配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,717	2.1	475	△4.6	662	△2.2	423	△0.8
2019年3月期第1四半期	8,534	△1.4	498	△28.6	677	△22.2	426	△24.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △223百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 647百万円(△26.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	16.	03	—	—
2019年3月期第1四半期	16.	16	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率 %
	百万円		百万円		
2020年3月期第1四半期	69,408		54,820		77.8
2019年3月期	71,265		55,449		76.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 53,996百万円 2019年3月期 54,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00	
2020年3月期	—					
2020年3月期(予想)		5.00	—	15.00	20.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	34,220	0.5	2,080	△14.0	2,500	△11.6	1,530	△9.7	57.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	26,400,000株	2019年3月期	26,400,000株
2020年3月期1Q	1,435株	2019年3月期	1,435株
2020年3月期1Q	26,398,565株	2019年3月期1Q	26,398,767株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
3. 参考資料	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)
当第1四半期 連結累計期間	8,717	475	662	423
前第1四半期 連結累計期間	8,534	498	677	426
増減率(%)	2.1	△4.6	△2.2	△0.8

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さがみられるものの、設備投資の増加や雇用情勢の改善を背景に堅調に推移しました。一方で、通商問題への懸念や海外経済の不確実性による影響もあって、先行きについては不透明な状況となっております。また、当社グループに影響を与えるテレビの広告市況につきましては、停滞気味に推移しました。

このような事業環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、87億17百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

利益面では、営業利益は4億75百万円（前年同期比4.6%減）、経常利益は6億62百万円（前年同期比2.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億23百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

	放送関連		不動産関連		その他	
	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
当第1四半期 連結累計期間	7,865	151	444	274	407	48
前第1四半期 連結累計期間	7,676	180	438	265	419	53
増減率(%)	2.4	△15.7	1.2	3.5	△2.6	△7.9

(注) 売上高については、セグメント間の取引を相殺消去しております。

〈放送関連〉

「放送関連」は、広告代理業を営む子会社が増収となったことや、イベント収入も増加したことなどにより、売上高は78億65百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

利益面では、映画出資の配分収入減やテレビスポット収入減に伴う利益の減少が大きかったことに加え、自社制作番組の増加に伴うテレビ番組費の増加などもあり、営業利益は1億51百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

〈不動産関連〉

「不動産関連」は、前年に保養所跡地を再開発により収益物件化したことや東京及び名古屋駅エリアの賃貸ビルにおける収入増加などにより、売上高は4億44百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

利益面では、修繕費が減少したことにより、営業利益は2億74百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

〈その他〉

ゴルフ場事業、保険代理業、タクシー業などで構成される「その他」は、売上高は4億7百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は48百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて18億56百万円減少し、694億8百万円となりました。

主な減少要因として、保有株式の時価下落により投資有価証券が10億58百万円、受取手形及び売掛金が6億25百万円、法人税等の納付及び配当金の支払いなどにより現金及び預金が4億5百万円、減価償却により有形及び無形固定資産が1億53百万円それぞれ減少しております。また、主な増加要因として、流動資産の「その他」が4億19百万円増加しております。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて12億27百万円減少し、145億88百万円となりました。

主な減少要因として、未払費用が11億95百万円、未払法人税等が3億5百万円、繰延税金負債が3億25百万円それぞれ減少しております。また、主な増加要因として、流動負債の「その他」が4億70百万円増加しております。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて6億28百万円減少し、548億20百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が7億43百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期における連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,841	10,435
受取手形及び売掛金	7,630	7,004
たな卸資産	66	85
その他	3,705	4,124
流動資産合計	22,243	21,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,074	29,078
減価償却累計額	△18,349	△18,500
建物及び構築物(純額)	10,725	10,578
機械装置及び運搬具	19,079	18,785
減価償却累計額	△16,341	△16,097
機械装置及び運搬具(純額)	2,738	2,687
土地	13,321	13,321
建設仮勘定	19	57
その他	1,612	1,616
減価償却累計額	△1,291	△1,297
その他(純額)	320	319
有形固定資産合計	27,125	26,964
無形固定資産	409	416
投資その他の資産		
投資有価証券	18,864	17,805
繰延税金資産	2,170	2,125
その他	584	579
貸倒引当金	△133	△133
投資その他の資産合計	21,486	20,377
固定資産合計	49,021	47,758
資産合計	71,265	69,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	244	190
未払費用	2,955	1,759
未払法人税等	495	190
引当金	147	434
その他	2,028	2,499
流動負債合計	5,871	5,075
固定負債		
引当金	47	46
退職給付に係る負債	3,322	3,370
資産除去債務	75	75
繰延税金負債	1,941	1,616
長期預り保証金	4,444	4,346
その他	112	58
固定負債合計	9,944	9,513
負債合計	15,815	14,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	654	654
利益剰余金	50,159	50,186
自己株式	△0	△0
株主資本合計	52,132	52,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,450	4,707
退職給付に係る調整累計額	△2,959	△2,870
その他の包括利益累計額合計	2,490	1,836
非支配株主持分	825	823
純資産合計	55,449	54,820
負債純資産合計	71,265	69,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	8,534	8,717
売上原価	4,837	5,111
売上総利益	3,696	3,605
販売費及び一般管理費	3,198	3,130
営業利益	498	475
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	166	171
その他	18	19
営業外収益合計	187	193
営業外費用		
支払利息	7	4
その他	1	1
営業外費用合計	8	5
経常利益	677	662
特別損失		
固定資産除却損	1	4
特別損失合計	1	4
税金等調整前四半期純利益	676	658
法人税等	242	227
四半期純利益	434	430
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	426	423

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	434	430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	△743
退職給付に係る調整額	71	89
その他の包括利益合計	212	△653
四半期包括利益	647	△223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	639	△230
非支配株主に係る四半期包括利益	7	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,676	438	8,115	419	8,534	—	8,534
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	38	80	205	286	△286	—
計	7,718	477	8,196	624	8,820	△286	8,534
セグメント利益	180	265	445	53	498	0	498

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場事業、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益498百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益498百万円と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,865	444	8,309	407	8,717	—	8,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	38	74	184	259	△259	—
計	7,901	482	8,383	592	8,976	△259	8,717
セグメント利益	151	274	426	48	475	0	475

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場事業、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益475百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益475百万円と調整を行っています。

3. 参考資料

(株)CBCテレビ 売上高の内訳

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 (2019年3月期 第1四半期)	当第1四半期 (2020年3月期 第1四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
テレビ収入	5,918	5,911	△6	△0.1
タイム収入	1,919	1,913	△5	△0.3
スポット収入	3,827	3,785	△42	△1.1
その他収入	171	213	42	24.6
クロスメディア収入	258	200	△57	△22.3
イベント収入	385	458	73	19.0
ハウジング収入	215	222	7	3.3
グループ請負収入	52	48	△3	△7.3
合計	6,829	6,841	12	0.2

(株)CBCラジオ 売上高の内訳

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 (2019年3月期 第1四半期)	当第1四半期 (2020年3月期 第1四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
ラジオ事業収入	577	620	43	7.5
タイム収入	340	373	33	9.8
スポット収入	228	242	13	6.1
その他収入	8	4	△3	△47.3
受託事業収入	88	91	2	2.6
合計	666	712	45	6.8